

ふくい街角景気速報

(令和4年5月分)

調査期間 令和4年5月20日～27日 (回答率：96%)

概況

景気の現状判断DIは51.8となり、前月と比べ0.4ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは50.3となり、前月と比べ5.4ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 51.8 (前月比 ▲0.4)

○家計動向関連では、前月に比べ0.8ポイント低下した。

○企業動向関連では、前月に比べ0.1ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

○GW期間は昨年と比べて格段に観光・レジャー客も多く、外食に出られるお客さまも増えてきている。(観光関係)

○動きが良くなった部分もあるが円安、原料高騰もあり厳しい部分もある。(繊維関連)

■景気の先行き判断DI 50.3 (前月比 +5.4)

○家計動向関連では、前月に比べ4.1ポイント上昇した。

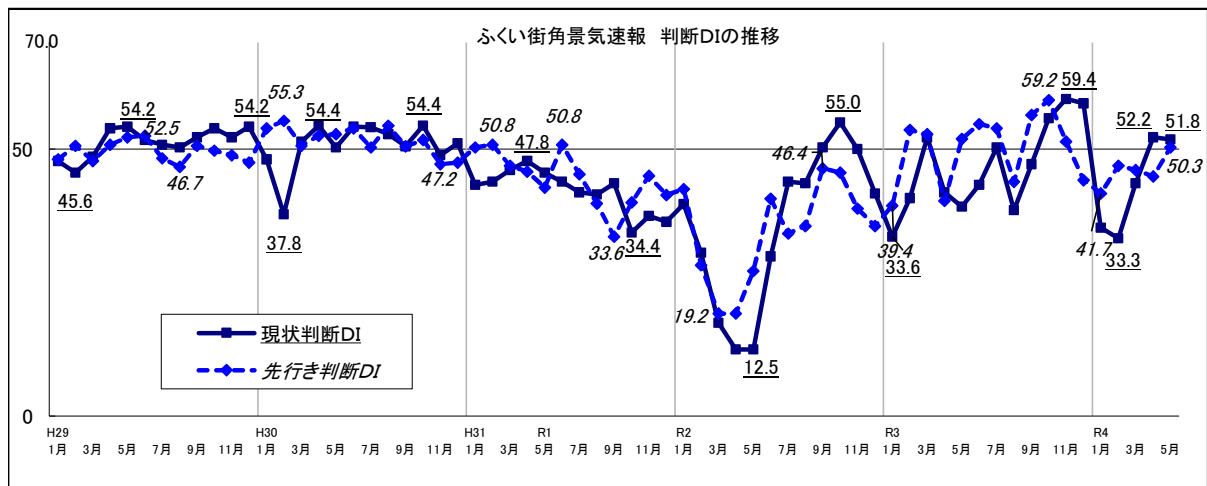
○企業動向関連では、前月に比べ8.4ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ2.1ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○売上は改善されるかもしれないが、日用品の値上げもあり、景気が回復していくとは言えない。(百貨店・SC等)

○感染症の動向への懸念が和らぎ、経済、社会活動が活発化になり、対面型サービスを中心に持直しが期待される一方、ウクライナ情勢の悪化や円安進行による物価上昇、中国の「ゼロコロナ」政策等の影響が多面で懸念される。(銀行等金融関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年月	12	R4 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		58.6	35.3	33.3	43.6	52.2	51.8	▲0.4
家計動向関連		57.1	26.1	25.5	42.0	56.3	55.5	▲0.8
小売		56.5	28.9	28.1	39.5	54.7	53.1	▲1.6
飲食		58.3	12.5	12.5	58.3	70.0	62.5	▲7.5
サービス		58.3	20.8	20.8	45.0	54.5	58.3	+3.8
企業動向関連		56.1	44.9	40.2	43.6	45.5	45.6	+0.1
製造業		56.3	45.2	38.0	40.4	45.0	48.0	+3.0
非製造業		55.6	43.8	46.9	52.8	46.9	38.9	▲8.0
雇用関連		72.7	45.0	45.5	50.0	54.2	54.2	+0.0

○回答別構成比

	年月	12	R4 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなっている		8.9%	3.3%	2.2%	1.1%	3.2%	2.1%	▲1.1
やや良くなっている		33.3%	7.8%	4.4%	18.9%	28.0%	30.2%	+2.2
変わらない		43.3%	35.6%	37.8%	44.4%	44.1%	43.8%	▲0.3
やや悪くなっている		12.2%	33.3%	35.6%	24.4%	23.7%	20.8%	▲2.9
悪くなっている		2.2%	20.0%	20.0%	11.1%	1.1%	3.1%	+2.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年月	12	R4 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		44.2	41.7	46.9	46.1	44.9	50.3	+5.4
家計動向関連		42.4	44.0	48.9	48.3	48.4	52.5	+4.1
小売		40.3	41.4	47.7	46.8	44.5	49.2	+4.7
飲食		33.3	25.0	37.5	33.3	55.0	54.2	▲0.8
サービス		50.0	54.2	54.2	57.5	56.8	60.4	+3.6
企業動向関連		45.5	36.8	43.2	41.4	39.4	47.8	+8.4
製造業		43.8	37.5	43.0	43.3	38.0	49.0	+11.0
非製造業		50.0	34.4	43.8	36.1	43.8	44.4	+0.6
雇用関連		47.7	47.5	50.0	52.3	45.8	47.9	+2.1

○回答別構成比

	年月	12	R4 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなる		0.0%	1.1%	3.3%	2.2%	4.3%	4.2%	▲0.1
やや良くなる		14.4%	12.2%	18.9%	25.6%	20.4%	24.0%	+3.6
変わらない		54.4%	48.9%	47.8%	37.8%	32.3%	44.8%	+12.5
やや悪くなる		24.4%	27.8%	22.2%	23.3%	36.6%	22.9%	▲13.7
悪くなる		6.7%	10.0%	7.8%	11.1%	6.5%	4.2%	▲2.3

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	福井	飲食関連	お客様の来店数が増えているから。
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	少しずつイベントや行事、祭などが、縮小されながらも復活してきている。外へ出る機会も増えている。
		嶺南	観光関係	コロナ感染者数の増減に、一喜一憂しない風潮が出てきた。重症化しないこともあり、解禁ムードが少し出てきた。
		福井	観光関係	ビジネスを中心に県外からの流入が増えてきている。GW期間は昨年と比べて格段に観光・レジャー客も多く、外食に出られるお客さまも増えている。但し、団体利用、宴会利用についてはまだ回復とは言えない。
	企業動向	福井	銀行等金融関連	3年ぶりに行動制限のない大型連休と天候にも恵まれ、対面型サービスを中心に回復傾向になった。県独自の「ふくいdeお得キャンペーン」などの施策も観光地、宿泊回復へのプラス材料になった模様。
	雇用	嶺南	労働相談員	5月の労働相談件数からみると、2月・3月より相談件数が激減しており、福井県内の労働や雇用環境については改善方向になっていると判断する。
③変わらない	家計動向	坂井	一般小売店	コロナの移動制限がなくなって良くなると思っていたが、値上げ幅が顕著。
		福井	スーパー	人の動きは活発化していると思われるが、賃上げに連動しない物価高が生じ、消費が伸び悩んでいるため。
		坂井	スーパー	GWの客数が前年に比べ非常に伸びたものの、その後コロナが再流行し客数は減少。合算して考えるとプラスマイナスゼロといったところ。
		嶺南	飲食関連	コロナの影響が少なくなり、観光のお客さんが増えている感じだが、不安定な社会情勢や円安などの影響で、楽観視できない状況。
		福井	観光関係	夜のお客さんが戻っていないから。
	企業動向	坂井	繊維関連	動きが良くなった部分もあるが円安、原料高騰もあり厳しい部分もある。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続しており、ウクライナ情勢により若干の受注減少はあるものの、高水準の受注が続いている。
		嶺南	化学・プラスチック関連	原油高・為替円安が続いているため。
		福井	化学・プラスチック関連	半導体不足やコロナの影響による供給制約に加え、ウクライナ情勢の長期化にともなう物流費や原材料費高騰等の影響は大きく、引き続き厳しい状況が続く。
		福井	建設・不動産関連	連休前と比べて顧客の動向が鈍くなった感がある。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	新年度に入り、各自治体が景気対策を打ち出すものの、未だ県内の新型コロナ感染も高止まり傾向で、さらにウクライナ情勢も長期化するなど、地域経済が好転する要素が少ない。
嶺南		学校就職担当者	現在のところ、採用人数に大きな変化がない。	
④やや悪くなっている	家計動向	福井	一般小売店	仕入商品の値上げ、入荷遅れが発生している。
		福井	百貨店、SC等	海外ブランド嗜好品は無論のこと、キッチン用品・タオル・寝具等生活必需品まで、総じて、10%程度値上げになっている。今までより、厳選して購入する傾向もあり、まとめて購入するということが減っていると思う。
		嶺南	スーパー	原料高に伴う食料品や燃料等の値上り傾向が続いており、自店舗においても買上点数減少の影響が出ている。
		福井	サービス業関連	急激な円高と、消費物価の値上げの影響がある。
		坂井	観光関係	コロナの影響があり連休後の予約が伸びてこない。
	企業動向	奥越	電気機械関連	上海ロックダウンの影響が出ている。
		丹南	建設・不動産関連	ロシア情勢の影響がある。
	福井	運輸関連	売上は横ばいであるが、売上原価が増加している。	
⑤悪くなっている	家計動向	嶺南	商店街	緊急宣言のないゴールデンウィークは賑やかになった。しかしコロナ禍前の水準には程遠いものがある。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計 動向	福井	観光関係	Gotoトラベル復活による利用者の増加の期待。
②やや良くなる	家計 動向	丹南	商店街	これまでのように不安な気持ちで出かけなかった高齢者の動きが、少しではあるが活発化してきた。一方で、原材料の価格高騰からの消費財の値上げが続くことを考えると、消費の冷え込みも予想されるので、先行きは不透明で不安が募る。
		嶺南	一般小売店	昨年よりはコロナへの意識も変わり、徐々に出かける機会も増えるように思われるため。
		福井	百貨店、SC等	ワクチン3回目接種者数が増幅することにより、更なる支出行動が活性化する期待が高いため。
		坂井	スーパー	屋外でのマスク非着用の方針などから、外出の意欲が高まってくると思われる。
		福井	観光関係	新型コロナ感染者数の高止まりが気になるが、期待を込めて。
	企業 動向	丹南	食料品製造関連	観光バスの数も少しずつ回復し、量販、通販の売り上げも固く、少しずつ売り上げが回復しつつある。
雇用	福井	学校就職担当者	高校生の有効求人倍率が高い数値を示していることから、企業の生産状況が活発であるような印象を受けたから。	
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、SC等	売上は改善されるかもしれないが、日用品の値上げもあり、景気が回復していくとは言えない。
		嶺南	スーパー	中国やウクライナ等の世界情勢もあり、今後しばらくは景気回復は厳しいのではないかと。
		奥越	観光物産関係	物価の上昇による買え控えが懸念される。
		福井	サービス業関連	好転するような材料やその兆しが見当たらないため。
		坂井	観光関係	円高や物価の高騰などにより消費マインドが落ち込んでいる事と併せて、コロナの状況を考えて心配な点の方が大きい。
	企業 動向	奥越	繊維関連	プラス傾向もみられるが、不透明なところが多い。
		福井	眼鏡関連	営業が出来るようになって、仕入単価の上昇、商品入荷の遅れなど問題点はまだまだある。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続しており、ウクライナ情勢により若干の受注減少はあるものの、今後も高水準の受注が続くと予想している。
		福井	化学・プラスチック関連	新型コロナウイルスによる供給制約に加え、ウクライナ情勢の混迷による食料品や日用品をはじめとした製商品の値上げが相次いでおり、当面、個人消費は本格的に回復しないと思われる。
		福井	銀行等金融関連	感染症の動向への懸念が和らぎ、経済、社会活動が活発化になり、対面型サービスを中心に持ち直しが期待される一方、ウクライナ情勢の悪化や円安進行による物価上昇、中国の「ゼロコロナ」政策等の影響が多面で懸念される。
		福井	建設・不動産関連	コロナ感染症の流行次第の面があり、現状経済活動の回復よりも、物価上昇気運の方が高い。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	コロナ感染による売上減に加え、燃料高騰等による物資上昇分により各企業の経営が圧迫されていることから、投資計画が見送られている。
	④やや悪くなる	家計 動向	丹南	百貨店、SC等
福井			スーパー	仕入原価の値上げ依頼が多数きている。また、一部仕入れることができない商品も出てきている。
嶺南			飲食関連	コロナの影響が少なくなり、観光のお客さんが増えている感じだが、不安定な社会情勢や円安などの影響で、仕入れ価格も向上し、楽観視できない状況。
企業 動向		福井	一般機械関連	上海のロックダウンの影響で、下半期の電装部品の仕入が悪化する事がほぼ確定しているので、生産計画が停滞する。
	丹南	建設・不動産関連	ロシア情勢や金利上昇などが懸念されるため。	
	福井	運輸関連	売上原価の増加は今後も続くと思われる。	
⑤悪くなる	家計 動向	福井	一般小売店	更に仕入商品が値上がりし、商品売価が上がり、消費者の購入が慎重になる。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)